



(様式第1号)

平成 28 月 5 月 25 日

認定介護福祉士認証・認定機構

理事長 大島 伸一 様

領 域 名 : ⑥心理・社会的支援の領域

科 目 名 : ⑥-2 地域生活の継続と家族支援

単 位 数 : 2 単位

認証申請する研修の名称 : 認定介護福祉士養成研修

団体名 : 公益社団法人長野県介護福祉士会

団体事務所の所在地 : 〒 380-0928

長野県長野市若里 7-1-7

電話 : 026-223-6670

FAX : 026-223-6679

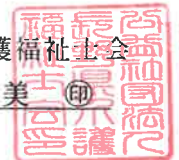
E-mail : sakai@kaigo-nagano.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者 : (公社) 長野県介護福祉士会

会長 畠山仁美 印

申請責任者 : 酒井 良育



記

○認定介護福祉士認定研修認証申請書 (別紙 1 ~ 3)

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	心理・社会的支援の領域	
科目名	地域生活の継続と家族支援	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者本人が培ってきた社会関係、社会的役割の維持、社会参加の支援や、家族への支援が行えるとともに、介護サービスだけではない地域のインフォーマルな資源も活用して、地域生活の継続が支援できる実践力を習得させる。 	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が培ってきた社会関係や社会的役割を踏まえて、介護サービスを利用することが必要になってもそれらとの関係を断ち切らずにできるだけ維持できる支援の計画を考案することができる。 ・インフォーマルな担い手による互助の活動について、担い手、活動内容、連携の方策や留意点について説明できる。 ・家族介護者の負担や困難について、典型例をあげるとともに、家族介護者への支援や連携の方策について説明できる。 ・複合的な困難を抱える家族について、典型例をあげるとともに、支援や関係機関等との連携の方策について説明できる。 	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<ul style="list-style-type: none"> ○社会関係、ソーシャルサポート、社会的役割、社会参加の重要性と支援 <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な繋がり、人間関係、ソーシャルサポートの維持、再形成の支援 ・介護サービスによって、社会関係等を断ち切ってしまう危険性とその回避 ・社会的役割の維持、社会参加の支援 ○地域のインフォーマルな担い手による互助活動 <ul style="list-style-type: none"> ・意義と機能 ・主な担い手、活動・サービスの内容 ・連携の方策や留意点 ○家族支援 <ul style="list-style-type: none"> ・家族介護者の負担と支援 ・複合的な困難を抱える家族への支援 <p>地域生活支援、社会的役割、ソーシャルサポートの機能、社会参加支援、インフォーマルな担い手、互助活動の機能、家族介護者、介護負担、家族支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前課題①（5時間） ある利用者の生活歴を聞き取り、その人が生きてきた歴史をライフサイクルに沿って事例としてまとめる。特に、要介護状態となり、今までに培ってきた社会的役割や家庭内における役割が、どのように変化していったのか、現在の生活状況と合わせて4000字程度にまとめて持参すること。 ・事前課題②（5時間） 利用者の家族支援に関する事例を一つ取り上げて3000字程度にまとめて持参すること。担当事例がない場合は、経験のある上司や同僚等の話を聞いてまとめること。 (利用者の家族支援に関する事例の一例) ・家族介護者の負担と支援 ・複合的な困難を抱える家族への支援 ・ソーシャルサポートの構築 (注)上記2課題は演習で使用するのでプライバシー等に配慮し、本人又は家族、所属長等に使用目的を説明し、了解を得ること。 ・講義①（3時間） 社会的存在としての人間の特徴をライフサイクルに沿って講義する。特に高齢期における役割と居場所の必要性を理解し、人生を時間軸から捉える方法等について講義する。 ・演習①（5時間） 持参した事前課題①を使用して講義①の内容を参考にしながら事例検討を行い、介護支援の原則や支援方法等について各自の事例から確認する。 ・講義②（2時間） 家族介護者の負担感を理解し、家族を支援する必要性や社会資源等の活用及び多職種連携の必要性等について講義する。合わせて、地域包括ケアに必要な自助及び互助について講義する。 ・演習②（5時間） 事前課題②を使用して事例検討を行い、介護する

		<p>家族を支援する必要性や社会資源等の活用及び多職種連携の必要性、今後の実践目標等を確認する。</p> <p>・事後課題①（5時間） 事前課題①②のうち一つを選択して改めて省察（リフレクション）を行い、まとめなおすこと。また、今後の介護実践の方向性や職場でどのように応用・展開していけるか具体的な方法や行動計画について提案すること。4000字程度でまとめること。</p>
研修方法	<p>■集合研修 ■課題学習</p> <p>○集合研修講義と演習を組み合わせで行う。 ○課題学習は事前・事後課題としてレポート課題を課す。評価は担当講師が行う。</p>	
研修時間	30時間（集合研修15時間、課題学習15時間）	
修了要件	<p>○全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻、早退については合計30分（遅刻、早退それぞれ15分）を上限として認める。（レポート課題なし）1日のプログラムのうち、始めの30分を超える遅刻、終わりの30分を超える早退であって120分以内である場合、レポート課題による代替を可能とする。120分を超える遅刻、早退の場合は、ビデオ学習による補講を行ったうえでレポート課題を提出するものとする。</p> <p>○修了評価として行う筆記試験（50問程度）において、A～C評価（100点満点中60点以上）であること。D評価（59点以下）の場合は、再試験を行い、A～C評価とならなければならない。なお、再試験は複数回の受験を可能とする。</p>	
講師要件（講師の選定基準）	<p>・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者</p> <p>・補助者についても当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者</p>	
(2)受講者について		
受講対象（受講要件）	<p>単位取得できるのは介護福祉士資格を有するものであること。</p> <p>・「認定介護福祉士概論」を修了していること。 ・「心理的支援の知識・技術」を修了していること。</p>	
修了評価	<p>筆記試験（50問程度）により行い、100点～80点をA評価、79点～70点をB評価、69点～60点をC評価、59点以下をD評価とする。A～C評価（100点満点中60点以上）で修了とする。</p>	
(3)研修の環境条件		
定員（講師の配置基準）	30名（講師1名）演習時も同じ講師が行う。	
開催場所（都道府県）	JA長野県ビル（長野県長野市）	

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 平成 29 年 9 月
	②
	③
開催場所 (会場)	① 長野県長野市 JA 長野県ビル
	②
	③
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	担当する講義等 地域生活の継続と家族支援 峯尾武巳 氏 神奈川県立保健福祉大学教授、長野県介護福祉士会ファーストステップ研修講師、介護福祉士国家試験副委員長、日本老年行動科学会理事、日本生活支援学会理事・事務局長、(社福)平成会評議員、(社福)常磐会評議員、NPO 介護の会まっなみ理事、
	主な著書 「老いとこころのケア」ミネルヴァ書房、共著 「介護総合演習」建帛社、編著、「介護過程の展開」建帛社、編著、
	担当する講義等 修了評価 峯尾武巳 氏 (神奈川県立保健福祉大学教授) 履歴等は同上
(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	研修委員会 (非常勤: 17 名) 事務局 (担当事務局員、常勤: 4 名) 研修委員会において各科目の教育目的や到達目標を確認し、担当講師と科目間の連関や留意点について共有する。また、できる限り研修委員会の委員が研修を見学し、研修内容を評価するとともに、随時、研修の見直しを図る。
研修の企画運営に関する 諸規程	研修委員会設置要綱
研修管理責任者職名	副会長
研修管理責任者氏名	原千香子
機構問合先部署	長野県介護福祉士会事務局
機構問合先担当者氏名	酒井良育
機構問合先電話番号/FAX	026-223-6670 FAX 026-223-6679
機構問合先 e-mail アドレス	sakai@kaigo-nagano.jp
受講問合先部署	長野県介護福祉士会事務局
受講問合先担当者氏名	酒井良育

受講問合せ電話番号/FAX	026-223-6670 FAX 026-223-6679
受講問合せ e-mail アドレス	sakai@kaigo-nagano.jp
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	長野県介護福祉士会事務局
受講履歴の管理方法	<ul style="list-style-type: none"> ○紙媒体及びデータによる台帳管理 ○外付けディスクにバックアップデータを保管する。 ○データ保存期間は10年間とし、その後は外付けディスクにてデータを保管する。 ○個人情報の取り扱いにあたっては、法律を遵守する。
受講履歴の証明	全課程を修了した者には、会長名による修了証書を発行する。
管理責任者氏名	土屋一都(事務局長)
管理担当者氏名	酒井良育(担当の常勤職員)